

中 令和7年度 福井市足羽第一中学校 スクールプラン

【福井市学校教育目標】

郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる
子どもの育成

【福井市学校教育方針】

学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にした学校づくり～

<生徒の実態>

- ・明るく素朴で素直な生徒が多い。
- ・物事に真面目に取り組む生徒が多い。
- ・指示を聞いたり、慎重に考えたりしてから行動する生徒が多い。

【学校教育目標】

未来を切り拓く生徒の育成

<保護者の願い>

学校生活で、以下の力を身に付けてほしいと考えている。

- ・コミュニケーション力
- ・物事を多面的に考える力
- ・物事に粘り強く取り組む力

<地域の願い>

歴史と伝統のあるこの中学校でしっかりと学習し、地域とともに歩む生徒になってほしい。

【めざす生徒像】 自主・自律

自ら考え、判断し、行動する生徒

他を理解し、新たな価値を生み出す生徒

社会や地域の担い手として貢献する生徒

【研究主題】

対話力の育成 ～ 質問で掘り下げる ～

【重点目標】

「知りたい」「考えたい」「こうしたい」がわき上がる対話型
授業の実践(授業改善とカリキュラム・マネジメントの充実)

【具体的な取組】

- ・毎月1週間、授業力向上 week を設定、授業を公開する。
- ・「生徒力育成部(教科指導G)(語る会実践G)」 「教師力向上部(研究会推進G)(向上 week 推進G)」を中心に、授業研究を実践する。(足羽一中学校区の研究とリンク)
- ・教育総合研究所と連携し、「校内研修コンサルテーション」を実施する。
- ・ICT機器を活用し、ロイロノートなどタブレットを利用して意欲的に学べる対話型授業を実践する。

【重点目標】

- ・よりよい学校生活に向けて「想像」から対話による「創造」へ
～自ら考え、判断し、実行する自治的な活動の推進～
- ・違いを理解し、他者を尊重する心の育成 (人間力育成)

【具体的な取組】

- ・成功体験だけでなく、失敗を恐れず挑戦する活動を取り入れる。
- ・生徒主体の自主的・自発的な活動を行い、自己効力感、自己有用感を高める。(＋教師の生徒への評価)
- ・課題に協働で取り組み、自他を尊重できる場を設定する。
- ・教育相談、人権教育、コミュニティ作りの活動を定期的に行い、生徒や保護者が学校に相談しやすい体制を整え、いじめを許さない学級や学校作りを推進し、不登校の未然防止に努める。
- ・異学年交流による生徒同士の語る会を定期的に設定する。

【重点目標】

- ・将来の生き方や生活について対話を通して考え、実現に向けて学ぼうとする力の育成
- ・地域に根ざす活動の推進 (キャリアデザイン力育成)

【具体的な取組】

- ・夢や希望を育てる発達段階に応じたキャリア教育を実施する。
- ・まちの担い手プログラムを積極的に活用する。
- ・地域活動に生徒が参画し、自己効力感を育成する。
- ・学校HPやインスタグラム、月1回の学校・学年だより発行などで情報発信を行う。(地域、保護者と子どもの成長を共有)
- ・授業や学校行事等で、他者と本音で語り合う場、自分の考えを発表する場、考えを広げ深める場を計画的に取り入れる。
- ・対外的な対話の場へ参加(福井大ラウンドテーブル等)する。

【つながるプロジェクト】

わかる授業づくり

居場所づくり・絆づくり

キャリア教育の充実

【評価指標】

(生徒アンケート等の回答による…よくあてはまる＋ややあてはまる)

- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいる。(90%)
- ・自分の思いや考えをもとに、新しいものを創り出す活動を行っている。(85%)
- ・話し合う活動で、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。(90%)
- ・学習内容について、わかった点やわからなかった点を次の学びにつなげることができている。(90%)

- ・失敗していやになっても、あきらめずに取り組むようにしている。(90%)
- ・課題を立てて、情報を集め、調べたことを発表する活動に取り組んでいる。(90%)
- ・学校活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている。(95%)
- ・学校では、仲間と過ごすのが楽しい時間や場所がある。(95%)
- ・いじめを見たら、大人に知らせたりとめたりすることができる。(100%)

- ・自分にはよいところがあると感じている。(85%)
- ・将来の夢や目標を持っている。(80%)
- ・人の役に立つ人になりたいと思う。(95%)
- ・地域とつながる行事に参加している。(80%)
- ・地域や社会のために何をすべきか考えたことがある。(80%)
- ・学校だより・ホームページ・ブログ等を通して学校の様子を適切に伝えている。(保護者 95%)

【業務改善のための取組】 ・学校業務、会議等の精選および効率化(ICTの効果的な運用) ・教職員で改善に向けた「語る会」の実施 ・超勤時間削減のための各自のマネジメントの推進